

週報

2026年度 教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

<先週の説教から>

『ペンテコステ — 命の道を教えてください』

武田真治 牧師

詩編 16:7~11 使徒言行録 2:24~36

ペンテコステ礼拝(聖霊降臨日)は、聖霊が集っている一人一人に天から“聖霊”が降り、この地上に初めて教会が誕生した日をお祝いしながら、私たちに託されている信仰の群れを大切にしていきたいという思いを新たにする時です。その上で、よく耳にする質問は『聖霊って何ですか?』です。

よく聖書には「わたしの霊が萎え果てる時」という言葉が出てきます。ここには、聖書が人間について考える時の基本的な考え方が示されています。それは私たちの体の中には「わたしの霊」と呼べる“霊”が備わっているというものです。これは私たちの感情や意志、心と呼ばれるものも含めて、自分の思いや活動の源となるものだと言えます。つまり、私たちは普段この「わたしの霊」に従って“生活している”ということです。それ故に、自分の“霊”で動いて、つまらない失敗や大きな間違いを起こすこともあります。そんな私たちに対して、神様から降される“霊”があると!これが“神様からの霊=聖霊”です。私たちが持っている“わたしの霊”に対して、神様が『君は大丈夫か?その思いや考えでやって行けるのか?』『私の聖霊を受け入れてみたら?』と働きかける“神の霊”があると。

この“聖霊”の声に耳を傾けることによって自らを正し、新しい思いに気付かされていくことが信仰者だけでなく、人間として本来の在り方ではないかと!このことを今日の詩編16篇が「主はわたしの思いを励まし、わたしの心を夜ごと諭してください。わたしは絶えず主に相対しています。主は右にいまし、わたしは揺らぐことはありません。」と表現しています。これが聖書の信仰だと言えます。加えて、使徒言行録でペトロはこの詩編の言葉を少し改変して「あなたは、わたしの魂を陰府に捨てておかず、あなたの聖なる者を朽ち果てるままにしておかれない。」と続けています。ここで強調されていることは“聖霊に導かれる”ということは、単にこの地上

での生活だけでなく“死を越えて”導かれて行くのだと。これこそ、キリスト教の“復活信仰”をよく表しています。ペンテコステ(聖霊降臨)の出来事は、イエス様が天に昇られ、そこから私たちのために贈ってくださる“聖霊”です。だからこそ、素晴らしい賜物なのです。「わたしの霊」だけに頼って生きていくと、逆に言えば“悪しき霊”がいつのまにか入ってきて、自分の霊が支配されて、その悪霊の思うままに動かされてしまうこと=洗脳されてしまうことがあります。イエス様の聖霊が自分の側にあることで、私の霊がしっかり導かれていくのです。故に、いつも『聖霊よ、来てください』と祈っていくことが必要です。自分の思いや感情や考えだけで走ってしまうと結果的に生き苦しくなってしまうからです。『聖霊よ、来てください。私の心を諭し、思いを励ましてください。』と祈り求めて生きて行くことで、なんとか生き抜けるのではないかと私は思っています。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 6月3日(水) 20:00
II. 6月4日(木) 10:30

聖書研究: ヨブ記
祈祷主題: 日本基督教団を覚えて
担当: (水) IT (木) TA
祈りに覚える人 SMさん SMさん

【教勢報告】

主日礼拝 男18 女50 計68
祈祷会 I. II. 休会
日曜学校 幼稚科4 小中 13 計17
ひつじ雲の会<5月18日(月)> 男0 女4 計4

【次週礼拝】

6月7日(日)
聖書: イザヤ書 51:12~14
ルカによる福音書 9:23~27
説教: 「ルカ77—わたしを恥じる者を恥じる」
武田真治 牧師

【次週当番表】

79(1~2), 26(1)
司式: IY長老 奏楽: NY 礼拝: KY長老
配餐: HS AS IH IK 各長老
献金: SM SM 受付: NE MH
会堂準備: AA AT SM YE
看板: HS 週報: II お花: MH

【次週集会予定】

礼拝前: ・日曜学校礼拝 ・聖書輪読会 ・はこぶねルーム
礼拝後: ・6月誕生者祝福 ・お茶の会 ・牧師と語る会
・会堂管理委員会 ・長老会 ・聖歌隊練習

2026年 5月 31日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549